

1. エコライフ100万人の誓いの概要について

この運動は、地球温暖化を防止するため、省エネルギーやリサイクルの推進、新エネルギーの活用、ライフスタイルの見直し等様々な対策を推進することを通じ、急増している生活や家庭からの二酸化炭素の排出を削減するため、個人が家庭や職場で実行すべき取組を自覚し行動してもらうことを目的に、実施しているものである。

これは国民一人ひとりが日常生活の中で地球温暖化防止の行動に取り組むことの重要性を理解し、実行しようとする取組を誓いとして登録して、自主的に実践していただくもので、

多くの方々に身近なところで手軽にできる地球温暖化防止の取組を知っていただくこと

多くの方々の参加を得ることにより、国民相互の連帯感を実感しつつ地球温暖化防止の取組に弾みをつけること

一つひとつの効果は小さくとも、国民が全体として力を合わせることにより、経済社会を二酸化炭素の排出量の少ないものに変えていく力を発揮させること

を狙いとしている。

この運動の具体的な運営方法は実施要領（別紙1）のとおりである。

2. エコライフ100万人の誓いの途中経過について

参加者総数

3月10日午前11時現在の参加者総数は717,211人であり、12月の地球温暖化防止京都会議の後も極端に勢いが衰えることもなく増加してきており、3月の盛り上がりによっては目標達成が期待できる。

月別参加者総数（3月10日午前11時現在）

月	参加者数
6	3,161
7	1,604
8	10,784
9	21,522
10	72,387
11	221,262
12	84,383
1	121,179
2	112,418
3	68,511
合計	717,211

項目別集計及び二酸化炭素排出削減量（試算）

エコライフ100万人の誓いに参加いただいた方が、それぞれの誓いを実行していただいたとして計算した場合の二酸化炭素の排出削減量を試算した。

項目別の一人当たりの二酸化炭素排出削減量（CO₂削減原単位）は環境庁において一定の仮定をおいて試算を行ったものであり、ひとつの目安である。

（詳細別紙2）

2月20日現在二酸化炭素排出削減量（総参加者数648,700人）

項目	人数 (人)	原単位 (kgC/人・年)	CO2排出削減量 (tC/年)
1	107,458	5.1	548.0
2	323,700	8.8	2848.6
3	164,040	15.1	2477.0
4	248,810	8.2	2040.2
5	136,591	46.2	6310.5
6	311,221	5.3	1649.5
7	169,121	19.8	3348.6
8	88,863	4.3	382.1
9	115,870	32.7	3788.9
10	34,801	53.0	1844.5
11	310,598	9.0	2795.4
12	236,379	3.9	921.9
合計	(648,700)	-	28955.2

（各項目の具体的内容は、実施要領（別紙1）の誓いの選択肢を参照）

このCO2の削減量を、仮に民生家庭部門からの排出量（合計約4350万炭素換算トン（1995年））に比べると、その約0.067%に当たり、この割合で100万人が参加すると民生家庭部門排出量を約0.1%削減する勘定となる。

さらに、仮に国民の半分がこの取組をすると民生家庭部門の約6.5%の削減（国全体の総排出量比約0.85%の削減）が可能になる。

都道府県別の集計

民生部門の二酸化炭素排出量の削減には地方公共団体の参加・協力が不可欠であり、地方公共団体での取組状況が分かるように、都道府県別の集計を行っている。

集計結果は別紙3のとおりである（2月20日現在）。目標の100万人に達するには各自治体において1万人当たり100人の割合の参加が必要であるが、前回発表時既に達していた福井県をはじめ、富山県、京都府、静岡県、滋賀県、岐阜県、福島県、鹿児島県、鳥取県の10府県がこの数字に達している。一方でまだ50%に達していない自治体も多く、取組にばらつきがある。あと残り1カ月を切っているが、最後の取組に期待したい。

3. 著名人、企業の協力について

「エコライフ100万人の誓い」ではご賛同いただいた著名人の方にメッセージをいただくという形でご協力をいただいている。6月の開始当初より、曙関、アグネスチャンさん、石井竜也さん、北野大さん、小室哲哉さん、貴乃花関にご協力いただいているほか、本日現在では、有森裕子さん、石井道子前環境庁長官、いしだ壱成さん、石田純一さん、江戸家小猫さん、幸田シャーマンさん、C.W.ニコルさん、立松和平さん、俵万智さん、萩原健司さん、萩原次晴さん、平木理化さん、三浦雄一郎さんにご協力いただいている。

なおこれらのメッセージはインターネットのホームページで参加いただいた方にご覧いただけるようになっている。

また、企業では、ホームページの提供などご協力いただいているNTTをはじめ、大量に参加者を集めていただく等多くの企業にご協力をいただいています。これらの企業、団体は、ホームページ上で公表しています（参考資料）。

4．抽選で差し上げる記念品について

参加いただいた方には、抽選で記念品を差し上げることになっているが、現在までに決定している記念品は以下のとおりである。

- | | |
|---|------|
| ・地球温暖化防止京都会議記念Tシャツ | 50名 |
| ・レターセット（牛乳パックから作成したもの） | 200名 |
| ・環境ビデオ「地球は青かった」（京セラ（株）提供）
（地球温暖化とオゾン層の減少を解説したもの） | 100名 |
| ・「環境の日」（6月5日）制定記念切手 | 20名 |
| ・ソーラーラジオ | 60名 |
| ・環境家計簿ソフト「COCODIET（ココダイエット）」
（富士通エフ・アイ・ピー（株）提供） | 10名 |

今後、記念品に追加のあった場合にはホームページ等で随時公表する。

5．平成10年度の展開について

今回行っている「エコライフ100万人の誓い」は平成10年3月をもって終了するが、平成10年度は今回の100万人の誓いをさらに発展させ、エコライフの実行・継続にも焦点を当てた運動を行う予定にしている。詳細が決まり次第発表する。